

虫による皮膚炎

初夏の季節とともに、子供は外遊びなど屋外での活動が多くなりますが、それに合わせるように、皮膚に有害な虫も活動するようになります。そのためこの時期は毛虫による皮膚炎が発生します。

最も被害が多いのは、ドクガの仲間の毛虫による皮膚炎です。毛虫はツバキ、サザンカ、オチャなどの庭木の葉っぱやサクラ、ウメ、クヌギなどの樹木の葉っぱをエサにしています。最も身近な毛虫皮膚炎は、チャドクガが原因と考えてよいでしょう。チャドクガは、5月～6月と8月～9月の年に2回、卵からかえって毛虫になります。

発疹は毒針毛どくしんもうが接触してから数時間出てくるようです。ですから、明らかに毛虫に触れてしまったと気がついたら、まず、ガムテープをペタペタと当てて、毒針毛を剥がしとってください。そしてシャワーで流してください。かゆい発疹がたく

さん出てしまっても、外用を中心とする治療を行えば1週間以内にかゆみは治まります。

そして次に多いのが蜂による皮膚炎です。蜂が近づいてきたらその場から身を低くして離れるようにしましょう。蜂が興奮すると攻撃する仲間が増えます。

もし蜂に刺されてしまったら傷口を強く絞りながら水でよく洗います。□で吸うのは良くありません。そして、傷口を冷やしましょう。また、アンモニアは効果がありません。

発疹、吐き気、呼吸困難などの症状が出た場合や数十分以内に症状が出た場合、目を刺された場合は緊急を要します。たくさん刺されてしまった人(首・頭・顔・心臓に近いところは特に注意)、以前に蜂に刺された経験のある人は特に注意しなければなりません。すぐに症状が出なくても医師の診察を受けましょう。